

Earth Campus Cafe

Earth Campus Cafe とは、「人と人をつなぎ、エコでピースな情報を発信していく」というキーワードのもと、大学の中でカフェ形式の環境ガイダンスやパネル展示を行うというものである。これに外部の NGO や企業の方を呼んで小さな講演会などをしたと考えていた。

結果から言えばこの企画はまったく別のものとなり、名前も「Earth Campus Fes」に変わった。Earth Campus Fes とは、環境だけに留まらず大学内のボランティア系団体全てをつなげるためのイベントを開催するというものだ。当初の企画から変更した理由は、外部の NGO などと呼ぶ以前に、大学内でさえ、お互いの団体の情報の共有が出来ていない、という問題点があがってきたためである。

実際、大学には 20 を超えるボランティア団体が存在し、毎年少しずつ増えている。活動内容は異なるが、共通する理念があると考えられる。環境、平和、そして福祉など様々な団体が社会をよくするために活動を行っている。これだけの団体がつながりを持つことが出来たら、互いに刺激し合い、もっと大きな企画やおもしろい活動ができるのではないだろうか。そう考え、第一歩として「Earth Campus Fes Vol.1」を開催した。また、ボランティアセンターも情報共有や横のつながりに関して問題意識を持っていたため、ボランティアセンターの協力のもと「ボランティア博覧会」と同時開催することになった。

「Earth Campus Fes Vol.1」は、11 月 30 日に大学内のボランティア系団体が 15 団体ほど集まって開催し、物販、パネル展示などを行い、ゲストのカポエイラサークルが踊りを披露し、ジャズ研究会などが演奏するなど多彩な内容となった。そして団体同士や外部の人たちとの交流の場となった。

初めての企画だったが、学生同士や学生団体が互いに交流を持つきっかけになったことは確かである。また、アンケートなどで、「企画としてとてもおもしろかった」、「横のつながりが出来たらいい」という前向きな意見が聞けたことは開催者として本当にうれしかった。

反省点としては、イベントを通してお互いのつながりを作ることが目的だったのか、それとも多くの人にボランティア団体を知ってほしかったのか、この二つがあいまいになってしまったことである。その結果、全体的に参加者が少なかったことが挙げられる。

反省や改善点はあるが、第一回が一つのきっかけとなり、今年、来年と少しずつ各団体がつながっていくことを願っている。そして、ボランティア連合会の発足、部室の確保、または大学から部費などの資金援助が受けられるような体制を作っていく流れができればと考えている。明学が掲げる「Do For Others」の精神が一人歩きしないよう、学生の側から盛り上げていきたい。

最後になったが、この企画に対して、協力いただいた大学の様々な部署の方々に感謝を述べたい。特にボランティアセンターのスタッフの方々には大変ご迷惑をおかけし、また、陰ながらこのイベントを支えてくださったことに、この場を借りてお詫びと感謝の意を申したい。

本当にありがとうございました。

(国際学部国際学科 4 年 中溝 修平)

明楽村

明楽村とは Reople という団体としての企画である。自然に寄り沿った生活を提案していく「Reople」というフリーペーパーとその号のテーマに沿ったワークショップをしていくものである。Reople とは「Re + People」で、現代人の、自然から遠ざかった生活を見つめなおすという意味の造語であり、私たちの団体名である。楽しくおしゃれに環境問題を考えたい、それには自分たちが興味を持てなければいけない。そのためには、生活と環境を切り離して考えてはいけないのだと思い、この団体を設立した。

第一号のフリーペーパーでは、「水」をテーマに身の回りのことに触れ、水と私たちの生活との楽しいつながりについて発信した。奨励金を利用して、第二号の「木」をテーマにしたフリーペーパーを作成した。木のぼり、木の家、木のぬくもりのあるカフェなどの紹介を盛り込み、木のつながりが人々の生活や健康に密接に結びついていることを発信した。同時にワークショップとして、戸塚にある善了寺ぜんりょうじにご協力をお願いし、雑草を使った紙作りに挑戦した。近所の子どもやお年寄りが珍しがって集まり、世代間交流の参加型ワークショップにすることが出来た。

今回の第三号は「金」をテーマに、地域通貨のシンポジウムや、地域通貨を使う体験などを紹介していきたい。

ワークショップとテーマが合わず苦悩することもあったが、自然の素材を使ったワークショップを実施することによって、「自然」と「私たち」のつながりが取り戻せることが出来るよう願っている。ワークショップやフリーペーパーを通じて、環境問題や様々な社会問題について多くの人に考えていただき、自然とのつながりの大切さを自分自身の問題として感じてもらうことができればと考えている。

今回の受賞と活動を通して、地域や他大学、そして学内でつながりを生むことが出来た。私たちの活動に多くの人が興味を持ってくれたことはいい刺激になった。Reople を通して、自分の生活を見つめなおし、普段の生活からもメッセージを発信できるような活動をしていきたい。



(国際学部国際学科4年 中溝 修平)